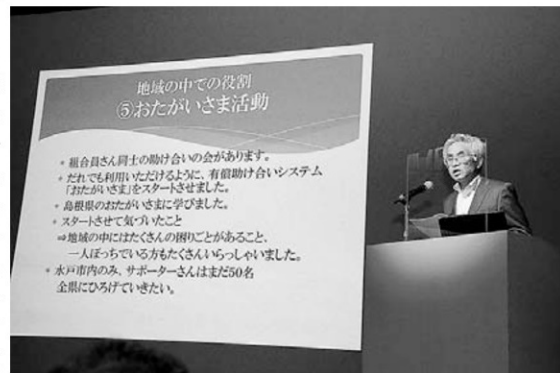


組合間の連携、事例紹介

生協やJ A、岐阜市で集い

県内の生協やJ Aなどの協同組合が交流する「協同組合を考える集い」が、岐阜市司町のみんなの森ぎふメディアコスモスで開かれた。各組合の役員約80人



協同組合ネットいばらきの活動を紹介する古山均さん＝岐阜市司町、みんなの森ぎふメディアコスモス

が出席し、組合間の連携をテーマにした活動事例発表を聞いた。

全県生協連やJ A全農岐阜などで組織する県協同組合間提携推進協議会が、国際協同組合デー（7月の第1土曜日）に合わせ、毎年開催。集いの様子は、動画投稿サイト「ユーチューブ」でも同時配信された。

茨城県の45の協同組合などで組織する「協同組合ネットいばらき」の活動事例発表では、災害復旧や子ども食堂支援などの取り組みが挙げられた。元副幹事長の古山均さんは「連携を進める上で、各団体ができることをできる範囲で実践することが大切。一人の100歩より、100人の一歩だ」と語った。また、日本協同組合連携機構の連携推進マネジャー佐藤憲司さん

が、生協とJ Aが連携した全国の取り組み事例を紹介した。（山田雄大）